

# World Watching 23

ワールド・ウォッチング



## 上海国際自動車城

(Shanghai International Automobile City : SIAC)



中山 武彦

国際港湾協会 (IAPH)  
名古屋港委員会事務局長

World Watchingの連載も20回を越えましたが、不思議な事に今まで中国についての紹介がありませんでした。先日港湾からは離れ、「上海国際自動車城」を視察する機会がありましたので、この壮大な事業について今回ご紹介させていただきます。



### 中国経済の進展

残された世界最大の市場と言われた中国は、今や世界の生産工場と呼ばれるようになってきました。今後の中国の発展については、経済・工業の専門家ではありませんので的確に述べる事は出来ませんが、より集積度の高い分野、例えば自動車産業のような分野へシフトして行くのは自明の事と思われます。2000年の自動車生産台数は207万台と、まだ日本のマイカー元年1966年の水準と言われていますが、この事は逆に、日本がそうであったように近い将来、中国の爆発的なモータリゼーションを意味するのではないのでしょうか？裾野の広い産業であると言われている自動車産業の進展は、中国の産業の各分野に今まで以上のインパクトをもたらすものと思えます。

勿論、港湾もその例外ではありません。



### 港湾と自動車

一般に自動車と港湾とはあまり結びつきは無いように思われますが、自動車生産に必要な原

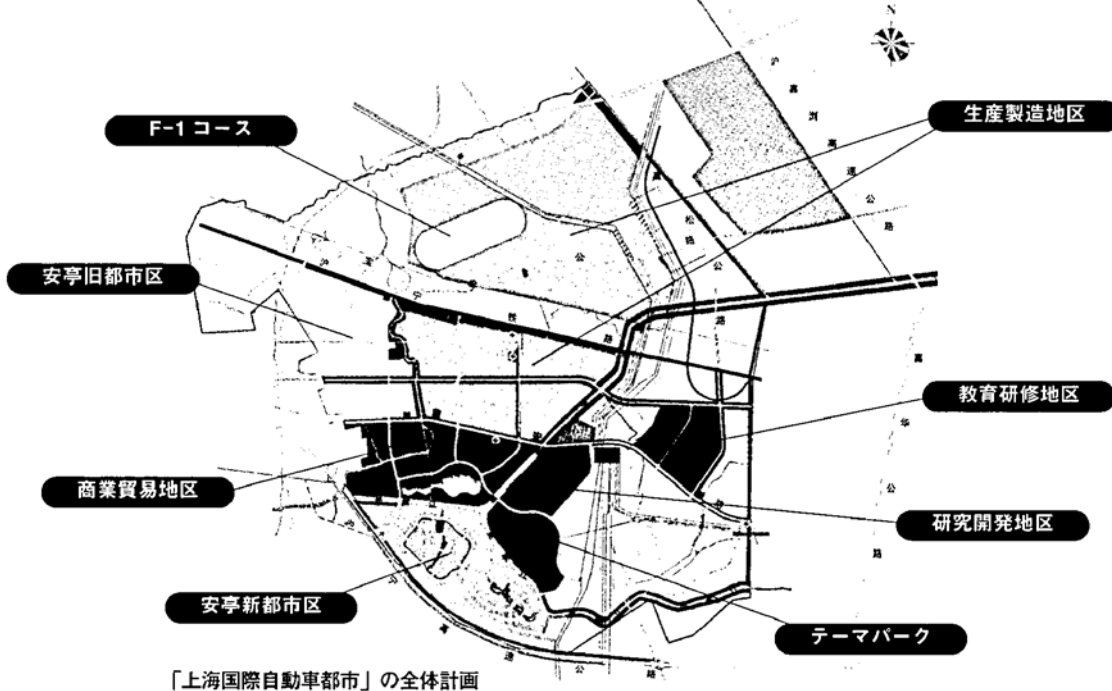
材料の輸入は勿論のこと、港湾は自動車の輸出入に大きく寄与しており、また依存しています。現在完成車の海上輸送は日本・米国・欧州を軸に進んでおり、名古屋港が年間130万台、ブレーマーハーフェン港(ドイツ)が110万台、三河港が100万台、以下欧州のゼ・ブルージュ港、アントワープ港、米国のニューヨーク・ニュージャージー港やロングビーチ港が世界を代表する自動車港湾となっています。今後自動車産業の世界展開に伴い、完成車輸送のみに止まらず、コンテナを利用しての自動車関連部品の輸送は一層活発化していきますので、自動車産業は、船社にとってもまた港湾にとっても非常に重要な産業となっていくことと思います。天津・上海・広州の港湾はより多くの自動車関連貨物を取り扱う事になるでしょうし、とりわけ上海港は、外高橋地区に自動車専用船バースの建設を進めており、また次に紹介するプロジェクトとあいまって、近い将来世界の自動車港湾としての地位も確立するのではないのでしょうか。



### 上海国際自動車城 (Shanghai International Automobile City : SIAC)

2001年9月28日、上海市党委員会、市政府と中国自動車工業会、中国3大自動車集団の指導者らが出席して、上海国際自動車城(SIAC)の起工式が行われました。上海市は第10次5カ年計画で、上海市の東西南北の工業基地整備を進めており、東部(浦東)のIT・ハイテク、南部の石油化学、北部の鉄鋼、そして西部のSIACとなっています。

SIACの基礎インフラ建設投資は、約100億元(1.7兆円)、その後のサービス貿易区への投資や国際レース場の建設を含めると、最終的な投資総額は約500億元(8.5兆円)にのぼる巨大プロジェクトであり、WTO加盟後の重要戦略の一つとして位置付けられています。



「上海国際自動車都市」の全体計画



中心ゾーンの開発イメージ

### 1) 計画概要

SIACは総面積68km<sup>2</sup>の国際自動車都市計画で、「中国での自動車や部品の流通集積基地とするほか、10年後にはアジア・太平洋地域での自動車産業の一大拠点」を目指しています。地区内には既存の上海VW工場を包括していますが、単に自動車・自動車部品の生産にとどまらず、自動車の展示、自動車貿易、物流・保税、自動車に関する科学教育と情報サービス、F1レース場、自動車に関するレクリエーション施設や居住区など、多機能かつ国際的な自動車産業開発地区を建設する予定です。

### 2) 管理・開発

巨大で広大な地域にまたがるプロジェクトであるため、関係機関および関連業界との調整、そして行政としての強力で本事業をサポートをするために、SIAC全体の調整は上海副市長を総責任者として、上海市政府の各部長や関連機関、企業の長からなる運営委員会が行っています。また一方、SIACの核となる、中心地区(12km<sup>2</sup>)の開発は、民間活力を導入したデベロッパーとして上海国際汽車城発展有限公司が、上海自動車工業(集団)総公司、上海嘉華投資発展有限公司、上海物資(集団)公司、中国自動車工業協会及び中国第一自動車集团公司と東

風自動車公司により設立され、開発のみならず、企業誘致活動も行っています。

### 3) 外資の導入

SIACでは「世界のグローバル企業と共同で発展、推進させていく方針」のもと、貿易や物流を含め、外資の導入を積極的に図っていく予定であり、すでにGMやVWとの合弁の技術センターの建設が進められています。

### 4) アクセス

SIACは、上海市の西方25kmに立地しており、虹橋空港まで22km、浦東国際空港まで54km、また上海外高橋港まで40kmの距離に位置しています。また陸路については、SIAC内外に立体的な高速道路網を計画しており、これには上海・南京高速道路のインターチェンジや計画中の北京上海高速鉄道も含まれています。



### おわりに

のどかな田園地帯に建設が始まったばかりのSIACを見たとき、7年前初めて訪れた何もない湿地帯であった浦東を思い出しました。2005年にはほぼ1期計画(中心地区12km<sup>2</sup>内)として、F1コース場(2004年)を含む、都市サービス(31ha)、自動車貿易(30.7ha)、展示(19.3ha)、物流(28.2ha)、研究開発(103.7ha)、テーマパーク(74.8ha)、ゴルフ場(85.9ha)の自動車都市機能が整備される予定です。くしくも同年春には、国際港湾協会(IAPH)第24回上海総会が初めて中国で開催されます。日本からも多くの港湾関係者が上海総会に参加されるものと思いますが、その機会にSIACおよびSIACと港湾の連携などの状況を視察されてみてはいかがでしょうか。